

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	小林 貴彦
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3522
事務事業名	8307 景観事業						
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
施 策	06023100 良好な景観要素の保全と育成の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	080405 土木費・都市計画費・まちづくり推進費					
	事業	030000 景観事業					
事業目的				事業概要・効果			
須坂らしい景観を市民との共創により守り育て、将来の子供たちにより良い景観として伝えていく。				須坂市の良好な景観を守り育てるため、須坂市景観計画に基づき景観行政を推進する。景観育成住民協定締結に向けた支援のほか、屋外広告物の規制及び指導の実施に努める。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
1 景観計画に基づく事前届出、指導等 2 景観育成推進委員会総会の開催、研修視察の実施	1 景観計画に基づく事前届出、指導等 2 景観育成推進委員会総会の開催、研修視察の実施
平成29年度 実績	平成30年度 実績
1 景観計画に基づく事前届出、指導等 2 景観育成推進委員会総会の開催、研修視察の実施	1 景観計画に基づく事前届出、指導等 2 景観育成推進委員会総会の開催、研修視察の実施
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
1 景観計画に基づく事前届出、指導等 2 景観育成推進委員会総会の開催、研修視察の実施	1 景観計画に基づく事前届出、指導等 2 景観育成推進委員会総会の開催、研修視察の実施

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		14	80
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	1
一般財源		14	79
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,860.0	2,860.0
	嘱託職員	575.0	575.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,435.0	3,435.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,449.0	3,515.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	14	旅費14

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	10	景観視察手土産代10
11節 需用費	3	食料費3
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	67	景観審議会委員報酬46、旅費21

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	景観の重要性が高まっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	景観計画に基づく事前届出制度や景観育成基準により、良好な景観の保全が図られている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	事業費の縮減に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

景観計画による歴史的な蔵の町並みの特性を生かした景観行政に取組み、今後も継続して歴史的建造物を活かしながら建造物の維持・保存・活用事業を行なっていく。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

景観計画に沿った取組みを引き続き進める。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

景観計画に沿った取組みを引き続き進める。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント